

## 参加報告書 (インドネシア・ブディルフル大学)

### ① 本プログラム参加のきっかけ・目的について (200 字以上)

私がこのプログラムに参加しようと思ったのは大学生活の中で海外経験を積みたいと考えていたからです。そんな中でインドネシアでボランティアすることができるプログラムがあると知り、参加を決意しました。元々、東南アジア出身の友人や東南アジアで暮らしていた経験のある友人から現地での生活や食文化に関する話を聞いていたこともあり、東南アジアへの留学に興味があったのでボランティアを通して現地の文化を経験し、学ぶことができるのは私にとってとても良い機会だと思いました。

### ② プログラム内容について (各項目 200 字以上)

#### 1. ボランティア活動・ワークショップについて

今回のプログラムでは日本文化を紹介するワークショップや縁日を開催したり、弁当作り、孤児院訪問などを行いました。ワークショップではたこ焼きづくり、折り紙、書道、ペットボトルを使った風鈴づくりを現地の高校生に体験してもらいました。高校生の中には日本文化に興味を持つ人が大勢いて意欲的に参加してくれました。また、バディや先生方と協力しながらインドネシア料理を詰めた弁当を作り、街で配る活動を行いました。最初は受け取ってくれるか不安でしたが、インドネシアの方々はとてもフレンドリーで快く受け取ってとてもうれしかったです。プログラムの最後には大学で縁日を開催しました。縁日では焼きそばやベビーカー、チョコバナナなどの縁日特有の食べ物や射的、スーパーボールすくいなどのゲームを準備し、現地の高校生を招待しました。思ったよりも大規模なイベントだったので準備や運営がとても大変でしたが、とてもいい経験になったと思います。

#### 2. 授業 (インドネシアの歴史や文化、インドネシア語) について

インドネシア語の授業では挨拶や自己紹介などの基本的な単語・文法を学びました。教えてくれる先生がとても気さくで優しいので気負うことなく楽しみながら勉強することができたと思います。また、別の授業ではプログラムの最後に開催されるセレモニーで披露するために、インドネシア語の曲を歌ったり、踊ったりする練習を行いました。最初は人前で歌うことに抵抗がありましたが、バディたちと練習をしていくうちに最終的には楽しみながら披露できたと思います。

#### 3. フィールドトリップ (バンドンツアー) について

今回のプログラムでは一泊二日のバンドンツアーを行いました。バンドンへは行きは高速鉄道 (インドネシアの新幹線のようなもの) 帰りは車で移動しました。海外で高速鉄道に乗るのは初めての経験だったのですが、1時間ほどでバンドンに到着することができたのでとても快適に感じました。1 日目はインドネシアの伝統的な楽器を使ったショーを鑑賞しました。実際に楽器を弾く体験できてとても楽しかったです。また、食事の面で特に印象に残っているのは 2 日目の昼食に食べた伝統料理です。少し独特な味と見た目ではありましたが、とてもおいしかったです。

### ③ 本プログラムへの参加によって得たこと、および感想 (200 字以上)

今回のプログラムでインドネシアに滞在して、「とにかくやってみること」の重要性に気が付くことができたと思います。私は元々内気な性格で人に話しかけることや、自分から積極的に行動することが苦手だったのですが、現地では日本語はもちろん、英語も通じない場面も多々あったので「根気強く伝える努力」が必要とされました。最初は元々の性格もあり、自分の意見を伝えることに不安を感じていたのですが、現地の学生たちや先生方が私たちが意見を述べる場を設けてくれたり、理解しようと努力してくれたので気兼ねなく発言することができました。この経験を通して「自分の言いたいことが伝わらないかもしれない…」「否定されるかもしれない…」と考えるのではなく、間違えてもいいから自分の意見をはっきりと伝えることが重要なのだと気づかされました。

#### ④ 現地での生活等について（今後参加する学生へのアドバイス含む）

##### 1. 滞在先の治安・キャンパス・施設について

大学から寮まで送り迎えしてくれるので治安が悪いとは感じませんでした。ただ、人通りが多い場所や街灯が少なく暗い場所もあるので、念のため貴重品などの管理は慎重になった方がいいと思います。

##### 2. 食事について

朝食はスーパーマーケットでフルーツやヨーグルトなどを調達している人もいましたが、寮にパンやシリアルなどが用意してあったので特に困ることはありませんでした。昼食は大学側が用意くださったメニューから選ぶ方式でした。そのおかげでたくさんの種類のインドネシア料理を食べることができたので大満足です。夕食はモールやスーパー、近所にあるファストチェーン店で調達したり、日本から持ってきた米やみそ汁などを食べました。インドネシア料理は基本的に脂っぽいものが多いので、胃が持たれてしまうこともあるので慣れ親しんだ日本食を持っていくといいと思います。

##### 3. 交通手段について

基本的に大学のバスに乗って移動します。休日は Grab などのアプリを使ってタクシーを手配しました。

##### 4. 通信環境について

寮や大学の Wi-Fi、事前に日本で購入した e-sim を使用しました。20GB のプランのものを購入しましたが、半分ほどしか使いませんでした。

##### 5. 買い物事情について

Visa のデビットカードを1枚、クレジットカードを1枚持っていました。買い物は基本的にクレジットカードを使いましたが、思ったよりも現金を使う機会も多かったです。（2万5千円分換金しましたが、ほとんど使い切りました。）日用品などは近くにあるスーパーマーケットやモール、コンビニで購入することができました。

##### 6. 医療事情について

慣れない生活が続いたせいか体調を崩すことがあったのですが、日本から持参した医療品で乗り切ることができました。また、体調が悪いことを先生に伝えれば、現地の病院に連れて行ってくれます。また、歯磨きでもウォーターサーバーの水を使うようにするなど、水道水をできるだけ飲まないように心がけました。

##### 7. その他、現地での生活等に関して、参考となることがあれば教えてください

基本的に洗濯はランドリーで行うのですが、何着か服を紛失したのでどうしても失くしたくない服は持って行かない方がいいと思います。

以上